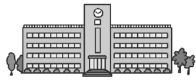


スクール便り



“原点回帰” 地域で活躍する専門技術者の育成を目指して

— 山口県立山口農業高等学校 環境科学科 —

1. 学校紹介

本校は明治 18 年 7 月山口県山口農学校として開校し、本年で 130 周年を迎えます。時代の波、推移とともに校名・設置学科・分校などで幾多の変遷を重ねてきましたが、その間 23,800 余人の卒業生を送り出してきました。卒業生は、県内外のあらゆる分野において目覚ましい活躍をしています。



写真-1 本校の校訓

2. 農業土木科の変遷

昭和 23 年の学制改革時に農業土木科としてスタートし、県内の土木建設企業や国家公務員、山口県庁、近隣の市町村役場に数多くの卒業生を送り出し、県内の土木建設業をけん引する力の源となっているばかりではなく、一時は中国地方整備局へも多くの卒業生を送り出し、庁内で多くの人が活躍してきました。

平成 16 年の学科改変では、生徒数の減少や土木建設業の低迷期とも重なり、森林資源科と統合し環境科学科を新設し、農業土木コースとして現在に至っています。

3. 履修する専門科目（環境科学科農業土木コース）

1 年次：農業環境（2）、総合実習（2）、
農業情報処理（2）

2 年次：課題研究（2）、総合実習（2）、
農業土木施工（2）、農業土木設計（2）、

測量（2）、森林科学（2）

3 年次：課題研究（4）、総合実習（2）、
農業土木施工（2）、農業土木設計（4）、
土質工学（2）、森林科学（2）



写真-2 測量実習風景

4. 特徴ある教育活動

(1) インターンシップ 全国でも先駆けとなって始めた本事業は、校内では習得できない実務的な実習を体験させることにより、勤労の尊さと土木技術者の社会的重要性を自覚させ、自己の進路に対する意識を高めることを目的としています。山口県建設業協会の支援を受け、2 年次の夏休みに 4 日間の日程で実施し



写真-3 インターンシップの様子（平成 25 年 7 月、山口県で発生した大雨による災害現場にて）

ています。受入れ企業は近隣の土木建設企業や測量コンサルタント企業で、各企業には本校の卒業生が在籍しており、母校の後輩のためならと、温かく見守られながら実施させていただいております。在校生にとっても農業土木科の伝統を感じながら、土木建設業を肌で感じることでできる貴重な機会となっています。

(2) 資格取得への取組み バブルの崩壊や公共事業の大幅削減、リーマンショックなどが続き、土木建設業界の低迷が続いた時期に、公務員の採用が絞られ、土木建設業会からの求人数も減り、本コースを卒業する生徒が他産業へ就職することを余儀なく迫られ、卒業生の進路が多様化していました。それに伴い資格取得への取組みも消極的になっていましたが、平成25年度入学生より資格取得の取組みを再度見直し、測量士補と2級土木施工管理技術検定試験(学科試験)をコース選択者の全員受験に戻し、積極的に取り組むこととしました。

また1年次には、小形車両系建設機械特別教育を必修とし、フォークリフトや危険物、ボイラー技士試験にも積極的に取り組むことを推奨しており、多くの生徒が複数の資格を取得して卒業することを推奨しています。



写真-4 小型車両系建設機械特別教育受講風景

(3) 田植え行事、稲刈り行事 1年次には、学科の枠を超え1年生全員で、田植え行事と稲刈り行事を実施しています。ほとんどの生徒が、水田に入った経験がなく、栽培実習のない環境科学科の生徒にとって貴重な体験となっています。



写真-5 田植え行事 (全1年生で実施)

5. 卒業後の進路

平成23年度	就職	土木建設業 (5名)
	進学	関連学科 (1名)
平成24年度	就職	土木建設業 (5名)
	進学	関連学科 (4名)
平成25年度	就職	土木建設業 (7名) 公務員土木職 (2名)
	進学	関連学科 (1名)
平成26年度	就職	土木建設業 (10名) 公務員土木職 (2名)
	進学	関連学科 (0名)

6. 今後の取組み

本校農業土木科では、地域を支える技術者の育成を担い、現在までに数多くの卒業生を地域に送り出してきましたが、土木建設業界の低迷が続いた時期には、卒業生の進路確保のため、さまざまな産業へ生徒を送り出さなければならず、農業土木科の教育課程も、環境分野の充実、造園科目の設置などさまざまな試行錯誤を行ってきました。

しかし現在、世代交代や災害復興などをうけ、技術者の不足が明確な問題点として浮彫りとなり、若い土木建設技術者の育成が課題となっています。本校の農業土木教育も、地域に根差し、地域で活躍できる技術者の育成に力を注いでいくことが使命であるという原点に立ち返り、さらなる飛躍を目指した取組みを実践していきたいと考えています。

(山口県立山口農業高等学校 環境科学科
教諭 伊藤顕一)